

地域力向上事業（看板事業）

第3回ジュニアジオガイド講座～火山の雄大さを体感しよう！～

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [共催] 環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 阿蘇火山博物館 阿蘇ジオパーク推進協議会
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
- [期日] 令和2年11月14日（土）～11月15日（日） 【1泊2日】
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク
- [参加者] 小学5年～6年生 22名
- [講師] 児玉 史郎 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 理事）
 広瀬 顕美 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 和田 眞幸 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 家入 惣子 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 高嶋 信雄 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 山本 俊夫 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
- [担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）
 佐藤 倫子（企画指導専門職） 尾中 純一（主幹）
 志賀 泰成（事業支援室主任） 堀澤亮太郎（事業支援室係員）

1 趣 旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。

2 目 標

- 本事業を通して、児童一人一人が阿蘇ジオパークの実際に触れ、阿蘇ジオパークのよさや素晴らしさに気づき、自然に対する畏敬の念を持つとともに、郷土を愛する心を育てる。
- 観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を通して、科学的に探究する力や技能を学ぶとともに、目的を同じにした仲間と協力して課題を解決する力を育む。
- 体験から感じ取ったことや学んだことをまとめ、それを発信することでジュニアジオガイドとしての幅広い知識と表現力を育む。
- ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞き、自らの将来について考える機会を作る。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
11月14日 (土)				受付	オリエンテーション	移動	【活動1】 大観峰カルデラ ジオサイト探検 (大観峰) ※昼食含む	移動	【活動2】 ～大観峰ガイド体験 へ向けて～ ・ガイドのコツ講座 ・原稿づくり		夕食・浴	【活動3】 ガイド原稿作り ・1日目のまとめ	就寝準備			就寝
11月15日 (日)	身支度	朝食	部屋点検	出発準備	移動	【活動4】 杵島岳ジオサイト探検 (杵島岳) ※昼食含む	移動	【活動5】 立野峡谷 ジオサイト探検 (立野峡谷)	2日間のまとめ 修了証授与							



大観峰探検



ガイド原稿づくり



杵島岳登山



山頂にて中岳火口をバックに集合写真



立野峡谷探検

4 成果と課題

(1) 成果

- ・杵島岳登山は、「阿蘇の雄大さを発見できた。」や「火口に入れたのが楽しかった。」「班での心が一つになって行動できた。」などの感想が多々あがった。阿蘇火山を知ることや仲間づくりなど色々な面において有効なプログラムであったことが分かる。
- ・今年度は、大観峰にてガイド場所・内容を決めてからの「ガイドのコツ講座」、その後ジオガイドと共に原稿づくりという流れにした。これにより、参加児童の原稿作成への取り掛かりが早く、短い時間で書き上げることができた。
- ・同じメンバーで全4回の講座に取り組んだことで、ジオガイドとのミーティングにおいて「本事業は、仲間づくりにおいてもとても有効」という趣旨には無い本事業の目的への評価があった。

(2) 課題

- ・第1回では7名の参加児童が大観峰ガイド体験に対して「少し不安」と回答していたが、今回は3名に減った。「ガイドのコツ講座」や実際に原稿づくりを行ったことで、少しずつ自信が出てきたことが伺える。第4回での講話やガイド練習等を通して、更に自信をつけていきたい。
- ・登山時における安全面での服装の徹底が甘かった。保護者への念入りな連絡をする必要がある。